

## 令和6年度 第3回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月21日（金）9時00分から11時25分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 森下律子、市川規子、石神好洋、佐藤剛、高林直子、寺田達弘、浅野佑一
- 4 欠席委員 松本久和
- 5 オブザーバー 高林修（市議会議員）、鈴木真人（市議会議員）、小林剛（笠井協働センター）
- 6 学校 伊藤美香（校長）、杉山貴和（教頭）、小木大輔（教務主任）、氏原志穂（CS ディレクター）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 氏原志穂（CS ディレクター）

### 11 議長の選出

司会から、事前選出において、委員から高林委員に御推挙いただきたい旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 12 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) いじめ防止等のための基本方針について
- (3) 学校運営協議会自己評価について
- (4) その他

### 13 会議記録

司会の杉山（教頭）から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会杉山（教頭）から高林委員へ交代

#### (1) 学校関係者評価について

小木（教務主任）から、別紙資料に基づき学校評価集計報告を基に説明があり、熟議を行った。委員からは以下の発言があった。

・学校教育目標の「夢をもち、ともに輝く子」の具現化のための「かんがえ合う子」は、進んで学習に取り組んでいると思っている保護者が昨年よりも低くなっているが、児童の自己評価は高くなっている。（小木教務主任）

- ・授業参観をして、一人で考える時間もあれば友達や、グループで結果を導き出すというプロセスが授業の中で取り入れられていて、最後まであきらめず課題に取り組み振り返りをしてキャリア教育につなげていると感じた。(森下委員、市川委員、高林委員、寺田委員、浅野委員)
- ・「ささえ合う子」の友達や地域の方に進んで挨拶していると回答している児童が多い。挨拶の大切さを教師、保護者、大人たちがお手本となって今後も取り組めたら良い。(石神委員、高林委員、浅野委員)
- ・「いきいきし合う子」は目標をもって、進んで運動や、行事に取り組んでいる児童が多い、また交通安全に気を付けて生活できていると感じているのも素晴らしい。(森下委員、市川委員、石神委員)

#### (2) いじめ防止等のための基本方針について

- ・いじめ対策コーディネーターからいじめ防止対策の取り組みの報告があった。対応の仕方や、早期発見、未然防止に努めている事や、認知件数等の報告があった。

#### (3) 学校運営協議会の自己評価について

- ・伊藤(校長)からパワーポイントを使用し、学校運営の基本的方針について具体的な対策を例に挙げ、説明があった。各委員理解し、共有することで熟議することができた。(森下委員、市川委員、石神委員、佐藤委員、高林委員、寺田委員、浅野委員)
- ・学校支援コーディネーターから活動内容の報告受け、学校のニーズに合わせた地域、保護者による支援が行われていることが確認できた。(森下委員、佐藤委員、)
- ・コミュニティ・スクールだよりや、学校だよりを地域に回覧した。また、さくら連絡網等を活用して、コミュニティ・スクールの取り組みを発信し、ボランティア募集を行った。(市川委員、石神委員)
- ・各支援活動について改めて可視化して、今後の見直しが明確になるよう役割分担を明確にしていく。(森下委員、石神委員、佐藤委員、高林委員、寺田委員)

#### (4) その他

- ・連絡、報告事項が司会の杉山(教頭)よりあった。